

# 郷土愛育成委員会 事業報告

## I. 委員

委員長 久野 典彦  
副委員長 前田 健司  
委員会メンバー 河合 崇晴 上尾 将文 村瀬 大地  
長谷川 恭好  
幹事 伊藤 諭 安藤 康之

## II. 委員会事業

1. 3月例会
2. 8月例会
3. 青年の船とうかい号 出航式、帰港式
4. JCI 世界会議 金沢大会

## III. 委員会活動報告

	事業名または活動内容	成 果
1月	3月例会内容協議	3月例会内容、委員会内にて協議。
2月	3月例会準備	3月例会、シナリオ・資料作成。
3月	3月例会開催	愛知用水事業をテーマとして郷土愛の大切さを学ぶ事が出来た。
	8月例会内容協議	長野県王滝村にて現地調査、委員会内にて協議。
	青年の船 とうかい号	乗船者募集。
4月	3月例会収支決算事業報告	3月例会の事業収支決算報告の作成。
	8月例会内容協議	長野県王滝村にて打ち合わせ、委員会内にて協議。
	青年の船 とうかい号	乗船者オリエンテーション参加。
5月	8月例会内容協議	長野県王滝村にて打ち合わせ、委員会内にて協議。
	青年の船 とうかい号	出航式。
6月	8月例会準備	長野県王滝村、水資源機構にて打ち合わせ、資料作成、設営準備。
	青年の船 とうかい号	帰港式。
7月	8月例会 親子説明会開催	参加児童及び保護者に8月例会の事前勉強会及び事業説明を行った。
	8月例会準備	長野県王滝村にて打ち合わせ、資料作成、設営準備。
8月	8月例会開催	子どもたちに感謝の気持ち、大きな夢を描ききっかけ、郷土愛を育んだ。
9月	8月例会収支決算事業報告	8月例会収支決算事業報告の作成を行った。
	JCI 世界会議準備	開催地金沢にて現地調査。
10月	JCI 世界会議準備	委員会内にて協議。
11月	JCI 世界会議開催	JCI 世界会議 金沢大会の設営を行った。
12月	事業報告書作成	事業報告を作成し、郷土愛育成委員会の一年間の活動を振り返ることが出来た。
	船島小学校授業	愛知用水について船島小学校4年生に体験型授業を行った。

#### IV. 委員会決算報告

単位；円

事業名	予算	決算
1. 3月例会「育め！郷土愛 先人方の想いを胸に」	10,000	8,810
2. 8月例会 青少年育成事業 「感謝と夢を育む〜ぼくらは愛知用水トラベラー」	2,016,000	1,827,131
合計	2,026,000	1,835,941

#### V. 委員長所見

委員長 久野 典彦

本年度、郷土愛育成委員会委員長という大役を仰せつかり、堤光彦理事長には大変貴重な体験をさせていただきましたこと、また多くの学びの機会をいただきましたことに心より感謝申し上げます。昨年、郷土愛育成委員会を担ってほしいと堤理事長から言われた時、事務局経験が多かった自分が出来るのであろうか？と言う気持ちと、郷土愛をメンバーや子どもたちに育成する事が自分で出来るだろうかと不安でした。しかし、自分自身の郷土愛を奮い立たせ学び行動して自信を構築し、前田健司副委員長や委員会メンバーと共に考え学び行動し、情報を共有し助け合いしっかりと目的を持って委員会運営を行うことで委員会メンバーとの絆を深めることが出来ました。その絆の元、3月例会では愛知用水事業をテーマとして愛する地域のために活動する大切さ、郷土愛を持って行動する事をメンバーに伝えることが出来ました。その後は青少年育成事業である8月例会へ向けて委員会一丸となって邁進していきました。最も大きな弊害であった御嶽山噴火による影響も懸念しました。自分自身、本当に子どもたちを連れて行って良いのか？募集で子どもたちが集まるのか…多くの不安がありましたが、度重なる現地調査で足を運んだ王滝村、その村の方々との綿密な打ち合わせ、そして愛知用水関係諸団体の手厚い協力。一人では出来ない事でも委員会メンバーや多くの協力者と共に力を合わせる事で私が描いた事業は実現する事が出来ました。事業当日、子どもたちの笑顔と雲一つない青空は今でも私の目に焼き付いていますし、先人方への感謝と大きな夢を描けるような事業を達成できた喜びを委員会メンバーだけでなく LOM 全体で分かち合えた事が一番の思い出です。

また12月には船島小学校にて学習発表会で愛知用水の事を行った小学校4年生を対象とした、愛知用水に関する授業を担わせていただくことが出来、多くの子どもたちに先人方への感謝の気持ちや、協力すれば大きな夢でも叶うことを伝えることが出来ました。また大きな事業を行うにあたり、東海青年会議所のブランド力を感じる事が出来ました。これは諸先輩方が素晴らしい事業の功績の結果だと思っております。この伝統に恥じぬような事業が委員会メンバーと共に達成出来たと思っております。

また各方面からも LOM メンバーには多く支援いただきました。本当にありがとうございます。多くの人に支えられ、郷土愛育成委員会委員長を全うする事が出来ました。

最後に、多くの困難を乗り越え私が思い描いていた一年間の事業が思い残すこと無く終えられたのは郷土愛育成委員会のメンバー、河合崇晴君、上尾将文君、長谷川恭好君、伊藤諭幹事、安藤康之幹事。この素晴らしいメンバーの委員会会議に参加する姿勢、素晴らしい意見や積極的な協力があつたからだと思えます。そして、委員会メンバーの繋がりを強固とし、どんな時でも私の隣にいてサポートしてくれた前田健司副委員長、委員会の想いを汲んでいただきしっかりとした方向性を示してくれた蟹江祥裕担当副理事長、私を郷土愛育成委員会委員長に任命していただいた堤光彦理事長、皆様に深く感謝申し上げます。郷土愛育成委員会委員長所見とさせていただきます。これまで生きてきた中で最高に楽しい一年間でした、本当にありがとうございました。